

2030年度の企業価値最大化に向けて着実に前進 時計事業が牽引し収益改善

代表取締役 社長 CEO 兼 CHRO
増田 裕一



3年中期経営計画を推進

当社は、2030年度の企業価値最大化に向けて策定した「中長期経営方針」に基づき、3年間の中期経営計画を推進しています。今年度は、コロナ影響からの収益力回復を図る「収益基盤強化期」の初年度として、時計事業やEdTech事業、DXへ戦略的な投資を行い、事業体質の改善に取り組んでいます。

2023年度上期業績のご報告

昨今の先行き不透明な状況を受け、今期は慎重な業績見通しを立てておりましたが、上期は、今年40周年を迎えた“G-SHOCK”が牽引し、期初計画を上回る結果となりました。

EdTech事業は、対面授業再開による需要回復、関数電卓“ClassWiz”の新製品好調により、堅調に推移いたしました。サウンド事業は、電子ピアノ“Privia”の上位機種が高く評価されている一方、巣ごもり需要の反動や、電子ピアノの市況悪化の影響を受けました。

下期の取り組み

時計事業は、メタル製で高価格帯の“G-SHOCK”のラインアップを拡充するとともに、戦略的な“G-SHOCK”のブランディング投資を拡大いたします。コロナ禍でノウハウを培った、SNSやライブ動画配信を通じたオンラインでのコミュニケーションに加え、新製品発表会やプロモーションイベント「SHOCK THE WORLD」をはじめとしたリアルマーケティングをグローバルで再開しております。注力市場であるインド・ASEAN地域でこれらの取り組みを強化し、下期の増収を図ってまいります。

EdTech事業は、ハードだけでなくソフトにも注力すべく、ICT教育アプリ「ClassPad.net」の専門部隊を構える新たな営業体制の下、教育現場への提案活動をさらに広げてまいります。

サウンド事業は、高価格帯商品のラインアップ強化のほか、製品設計の小型化による原価低減や、生産の自動化およびスマートファクトリー推進による生産効率向上に取り組む、収益構造の改善に努めます。

システム事業は、コンパクトな事業運営

体制に集約し、成長分野にリソースを配分することで、選択と集中を加速させます。

下期も引き続き、厳しい事業環境が続くと想定しておりますが、通期の業績計画は、上期の実績を踏まえ、売上高100億円、営業利益20億円、経常利益50億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円、それぞれ上方修正いたしました。修正後の売上高は対前年4%の増収、親会社株主に帰属する当期純利益は対前年7%の増益計画となります。

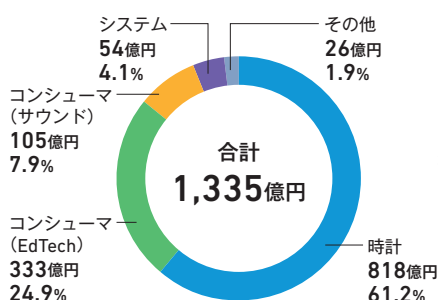
このように「収益基盤強化期」の初年度として、DXによるバリューチェーン改革や人材活性化に取り組みながら、サステナビリティ経営の強化を図り、事業体質改善を進めてまいります。今後も、カシオの強みである商品開発力を生かして新たな需要を生み出し、マーケティングでその価値を高めるといった一貫した事業活動により、持続的な成長を目指すとともに、事業活動を通して世界の人々の心と暮らしを豊かにしてまいります。

なお、株主の皆さまへの中間配当額は、業績連動および安定配当を基本としており、前年度と同額の1株当たり22円50銭といたしました。今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

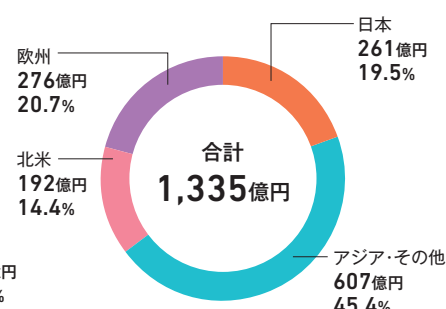
■ 上期の業績および通期予想

	上期実績	前年同期比	通期予想	期初予想比
売上高	1,335億円	100%	2,750億円	+100億円
営業利益	82億円	81%	180億円	+20億円
営業利益率	6.1%		6.5%	
経常利益	105億円	91%	200億円	+50億円
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	73億円	88%	140億円	+35億円

■ 売上高の事業別構成比



■ 売上高の地域別構成比



※単位未満を四捨五入しているため、合計値の内訳の計は一致しません。

製品 & トピックス

PRODUCTS & TOPICS

TOPICS 時計

新たなユーザーとのタッチポイント創出 「VIRTUAL G-SHOCK」プロジェクト

「G-SHOCK」で新規ユーザーとの接点を広げるため、「VIRTUAL G-SHOCK」プロジェクトを開始。オンライン上でユーザーと交流するコミュニティをオープンし、9月23日より会員権となるNFT(非代替性トークン)「G-SHOCK CREATOR PASS(Gショック クリエイター パス)」を、グローバルで初回1万5,000個にて無料で限定配布しました。近年成長を遂げるNFTやメタバースなどバーチャルでのコミュニティの展開により、「G-SHOCK STORE」の仮想店舗オープンや共創企画の実施など新たな体験を提供していきます。



TOPICS 時計

国内時計メーカーとして 初の快挙 “G-SHOCK”が 「立体商標」に登録



「G-SHOCK」初代モデルの形状が、特許庁より立体商標として6月26日付で登録されました。ロゴや文字のない、腕時計の形状そのものが立体商標登録されるのは日本で初めての事例です。発売から40年間にわたり機能や構造の進化を図りながらも、同じ形状を維持し発売を続けてきた結果、お客さまがそのフォルムを見ただけで「G-SHOCK」と判別できるようになったことが認められ立体商標登録に至りました。

PRODUCTS 教育

シンプルな UI により操作性が向上した 関数電卓の新製品を発売

スタンダード関数電卓「ClassWiz」の新製品として、シンプルなUIにより操作性が向上した「CWシリーズ fx-JP900CW/fx-JP700CW/fx-JP500CW」を9月21日に発売しました。従来よりもシンプルなUIに変更し、直観的な操作を実現。初めて関数電卓を使用するユーザーにも使いやすく、昨今のICT教育をはじめとした教育現場のトレンドにも対応したモデルです。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)(ホームページ)	☎ 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く) https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 下記の当社ホームページに掲載する。 https://www.casio.co.jp/ir/announce/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

■ 株式に関する住所変更などの届出およびご照会について
株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・増請求など)につきましては、証券会社に口座を開設されている株主さまは、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、上記の電話照会先にご連絡をお願いいたします。

■ 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更などの届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株主の皆さまへ毎年6月末に送付してありました期末の「事業報告書」につきましては、「統合報告書」や「定時株主総会招集ご通知」と内容が一部重複していることから、2023年度より発行を取り止めさせていただきます。何卒、ご理解いただけますようお願い申し上げます。



皆さまの声をお聞かせください

当社では、皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6952 いいかぶ

スマートフォンからもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます。アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(https://www.link-cc.co.jp)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
お問い合わせはメールにてお願いいたします。MAIL: info@e-kabunushi.com

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号
<https://www.casio.com/jp/>

